

2010年

11月4日(木曜日) 幸せの循環、喜びの循環が福祉の姿 - 「元気がでる講演会」 -

本日は、昨年につき、京丹後福祉サービス事業者協議会の主催で、多くの福祉の現場で働かれる職員の皆さんはじめ関係者の皆さんが参加され、「元気がでる講演会」が開催され、笑いと健康学会会長の澤田隆治さんと人情落語の第一人者、桂福団治さんをお招きし、会場の皆さんに激励と元気のプレゼントがされました。

私は、福祉に様々に携わる職員の皆さんには、仕事上のご負担もいろいろとあると思いますが、一つひとつの福祉の行為を通じて相手から喜びや感謝をいただけるのではないかと思いますし、それがまた職員自らの元気のエキスとなって福祉の行為を一層心のこもったものにしていく、そしてそれが更に、相手に一層喜んでいただけるものとなる、そんな幸せの循環、喜びの循環が福祉の現場では起こっていると思います。それが福祉の本当の姿であろうかと思えますし、この素晴らしい循環こそが福祉の現場における真の福祉発展の起動力、エンジンとなるのではないかと思います。

それに対し、職員の皆さんの多忙やご負担やストレスなどの影響がはからずも出てしまうと、逆の負の循環が起これかねないわけで、それだけストレスなどの自己管理が大切であるとともに、いずれにしろいずれの循環の起点にあるのも職員自身であるという自覚を深くしていくことが大切になってくると思います。

職員の皆さんには、ぜひとも幸せの循環、喜びの循環へと回していくエンジンになっていただきたいと願っていますし、この講演会を通じ、元気のガソリンをたくさんいただかれて、好循環への出力をパワーアップしていただきたいと思います。いつも本当にありがとうございます。